

編集後記

▽「新テスト」の導入と大学自治侵害の仕組みを持つ「総合研究大学院大学」設置のための「国立学校設置法」改悪案、国定教師づくりを狙う「初任者研修制度」施行のための「教育公務員特例法」改悪案、この二つの法案が、多くの国民の反対にもかかわらず、「臨教審」を支持する党派によって強行可決されました。

▽国会をめぐるそうした情勢を背景に、教育の現場では、今、管理体制の一層の強化、能力主義の横行、自主的研修の規制「君が代・日の丸」の強制等がどんどん進行しています。本号では、そうした実状を明らかにし、真に子どもの未来に責任を負う教師の課題は何かを探りたいと考え、「管理のなかの子ども・教師」を特集テーマにしました。

▽八木論文「生涯学習体系への移行」と地域」は、第二回にいがた県民教育研

究所研究会での基調講演の前半部分
を、整理して書き直してもらったもので
す。臨教審が「教育改革の最大の課題」
であるとする「生涯学習体系への移行」の
政策意図を知る上で、貴重な論文です。

▽紙数の関係で「長岡テクノポリス」最
終回は次号に回しました。（片岡 弘）

▼機関誌の内容も体裁もローカルカラー
が出て、いかにも「新潟の教育情報」ら
しく、段々よくなってきてますね。▼あ
りがとうございます。お陰様で。最近
臨教審研究各部会の研究成果も載せてま
すからね。▼編集部で企画するのですか。

▼編集長や編集部員の原案を編集部会、
事務局会議で討議し、編集委員会にかけ
ます。▼ところで、連載中の「学閥問題」
はなかなかおもしろいですね。抗議や圧
力はありませんか。▼全くありません。
激励はありましたが。校長先生らしい方
が「このような本は店頭にならべられて
は困る」と言った話、大校長が「なかな
かよく調べて書いてある。これは事実だ」
と言ったということなどは聞いていま

す。指導主事からどこの本屋に売って
いますかときかれたこともありませぬ。▼学
閥と教科書採択との関係をとりあげたら
どうですか。▼学閥の有力者が顧問など
で関係している会社の教科書が特定の学
校、特定の地域で採択されている事実は
いくつも知っていますが、証拠書類は採
択一覧表以外にないので難しいですね！
―会員との対話です。（若月又次郎）

にいがたの教育情報 No. 18

1988年 6月15日 発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所
発行人 長崎 明

新潟市東中通1-86 山崎ビル2F

〒951 電話(025)228-2924

振替口座・新潟4-12332

印刷所 (有)あかつき印刷所

長岡市新産4-4-7